

全国書店員が選んだ

いちばん！  
売りたい本



2013年

# 本屋大賞

全国書店員の投票で選ばれたベスト

11

2011年12月～2012年11月に刊行された日本人作家の小説の中で、

書店員自身を自分で読んで、いちばんお勧めしたいと思った作品です。

大賞

『海賊とよばれた男』

百田尚樹(講談社)

『64（ロクヨン）』

横山秀夫(文藝春秋)

『楽園のカンヴァス』

原田マハ(新潮社)

『きみはいい子』

中脇初枝(ポプラ社)

『ふくわらい』

西加奈子(朝日新聞出版)

『晴天の迷いクジラ』

窪美澄(新潮社)

『ゾロモンの偽証』

宮部みゆき(新潮社)

『世界から猫が消えたなら』

川村元氣(マガジンハウス)

『百年法』

山田宗樹(角川書店)

『屍者の帝国』

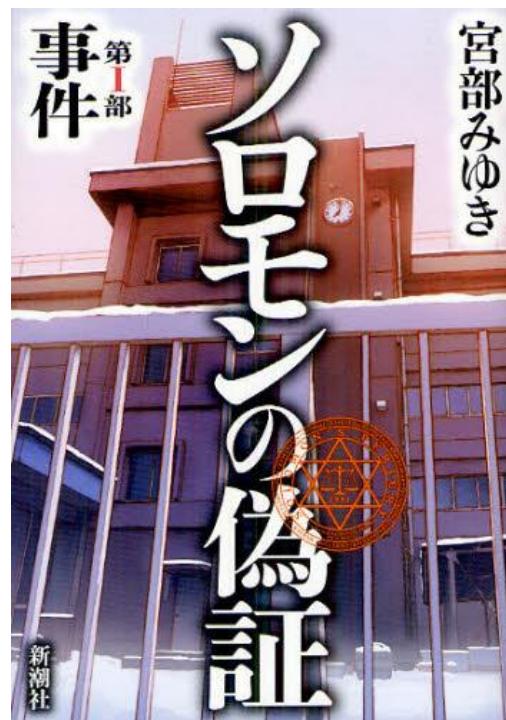
伊藤計劃、円城塔(河出書房新社)

『光闇伝』

冲方丁(角川書店)

2013年 本屋大賞

<http://www.hontai.or.jp/>



# ソロモンの偽証

宮部 みゆき

## 【内容紹介】

その法廷は十四歳の死で始まり偽証で完結した。

クリスマスの朝、雪の校庭に急降下した十四歳。

その死は校舎に眠っていた悪意を振り醒ました。

目撃者を名乗る匿名の告発状が、やがて主役に躍り出る。

新たな殺人計画、マスコミの過剰報道、そして犠牲者が一人、また一人。

気づけば中学校は死を賭けたゲームの盤上にあった。

死体は何を仕掛けたのか。真意を知っているのは誰!?

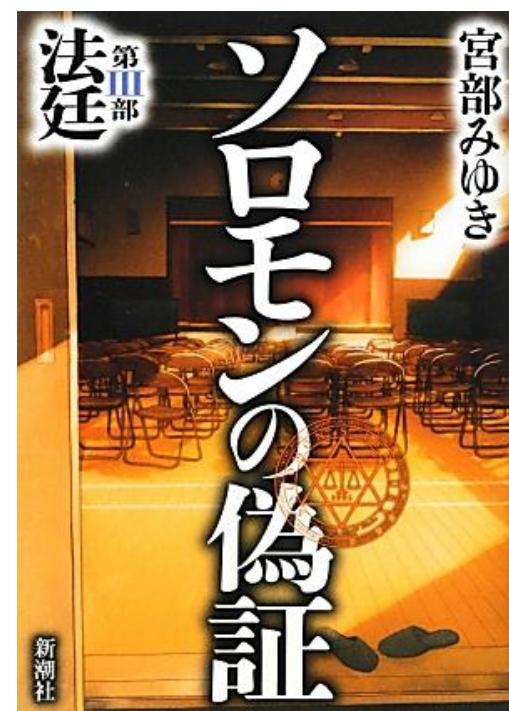
※公式サイトより引用

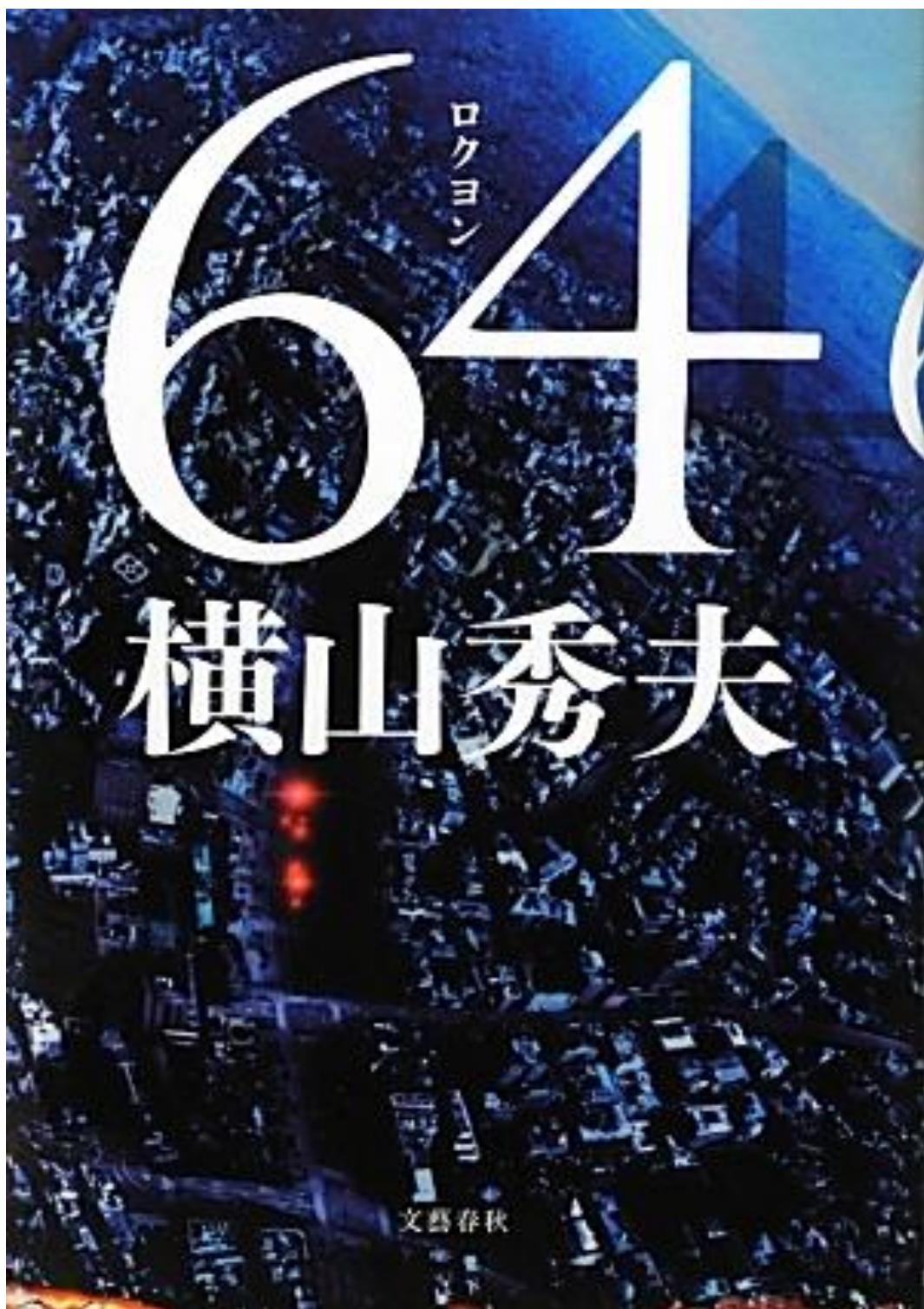
## <他の著書>

『レベル7』『龍は眠る』『火車』『理由』『模倣犯』etc..

ミステリー小説の他に、ファンタジーや時代小説も多く所蔵しています。

[ 第二フロア電動 ] 913.6 / M の棚をご覧ください !





# 64 (ロクヨン) 横山 秀夫

【内容紹介】

## 『警察発表』に真実はあるのか

<昭和 64 年>に起きたD県警史上最悪の翔子ちゃん誘拐殺人事件をめぐり、刑事部と警務部が全面戦争に突入。狭間に落ちた広報官・三上義信は己の真を問われる。怒濤の展開、驚愕の傑作ミステリー！

D県警の管内で初めて起きた本格的な誘拐事件。昭和 64 年 1 月 5 日にお年玉をもらってくると言い残して昼過ぎに自宅を出た雨宮翔子は、近くの親類宅に向かう途中、忽然と姿を消した。身代金 2 千万円を奪われ、雨宮翔子は無残な死体で発見された。犯人不詳。

※公式サイトより引用

《週刊文春ミステリーベスト 10 2012》 1 位

《このミステリーがすごい！ 2013 年版》 1 位



# 樂園のカンヴァス 原田 マハ

【内容紹介】

それは真っ赤な贋作か、知られざる真作か？

傑作アートミステリー！

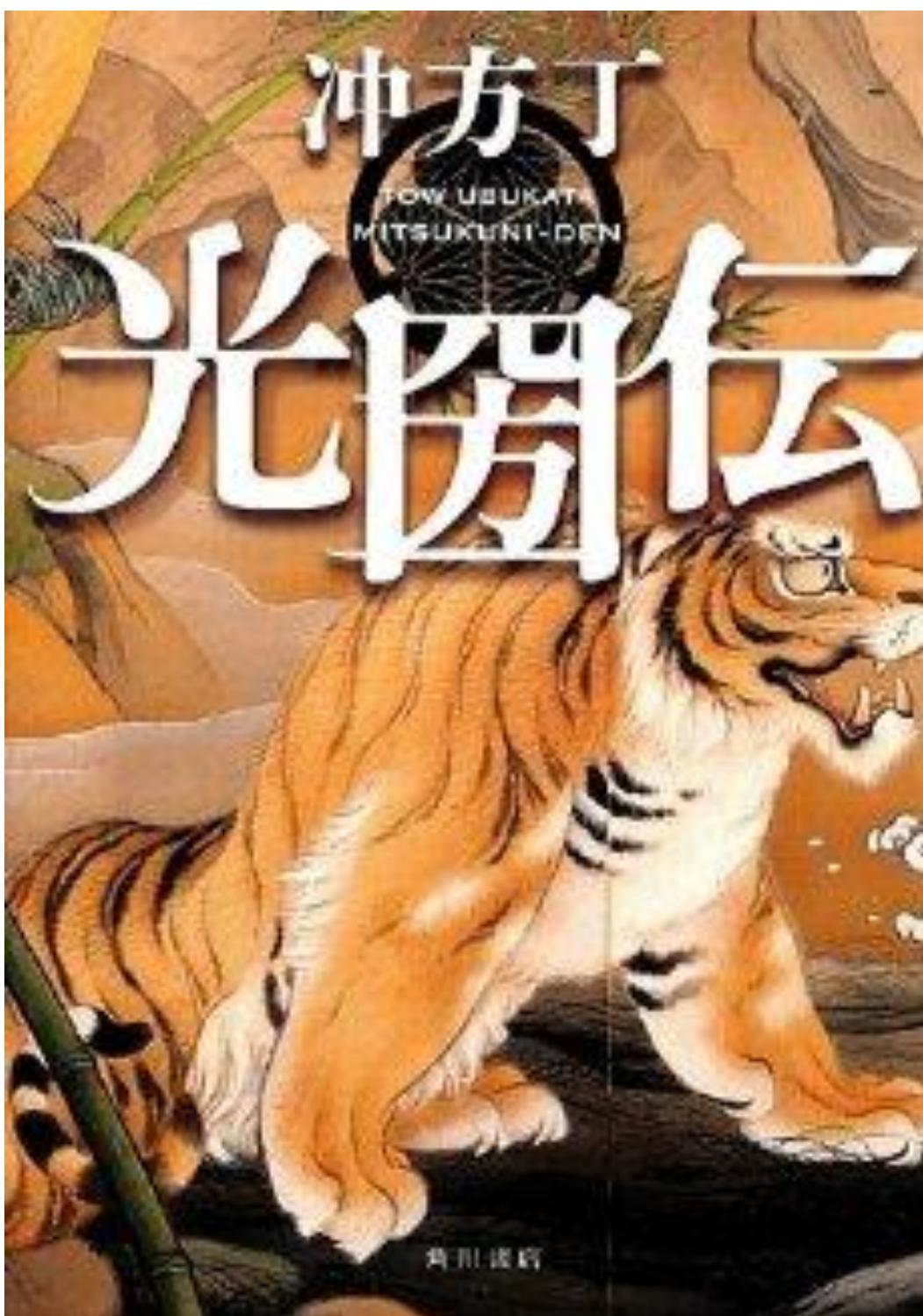
ニューヨーク近代美術館(MoMA)の学芸員ティム・ブラウンは、スイスの大邸宅でありえない絵を目にしていた。ルソーの名作『夢』とほとんど同じ構図、同じタッチ。持ち主の富豪は真贋を正しく判定した者に作品を譲ると告げる。

好敵手(ライバル)は日本人研究者、早川織絵。リミットは七日間——。カンヴァスに塗り籠められた真実に迫る渾身の長編！

※出版社HPより引用

《第二十五回 山本周五郎賞》 受賞

《ブランチ BOOK アワード 2012》 大賞受賞



# 光園伝 沖方 丁

## 【内容紹介】

獣の宿命を背負った男—その名は光園。

まったく新しい“水戸黄門”像の誕生！

なぜ「あの男」を自らの手であやめることになったのか—。老齢の光園は、水戸・西山荘の書斎で、誰にも語ることのなかつたその経緯を書き綴ることを決意する。

父・頼房に想像を絶する「試練」を与えられた幼少期。荒ぶる血を静めるために傾奇者として暴れ回る中で、宮本武蔵と邂逅する青年期。

やがて学問、詩歌の魅力に取り憑かれ、水戸藩藩主となった若き“虎”は「大日本史」編纂という空前絶後の大事業に乗り出す—。

※公式サイトより引用

『天地明察』 913.6 / U

《2010年 本屋大賞》 大賞受賞



上

百田尚樹

大賞受賞作品

# 海賊とよばれた男

百田 尚樹

【内容紹介】

1895年8月15日、

男の戦いは、0からはじまった…

「ならん！ひとりの馘首（かくしゅ）もならん」— 敗戦の夏、異端の石油会社「国岡商店」を率いる国岡鐵造は、なにもかも失い、残ったのは借金のみ。そのうえ石油会社大手から排斥され売る油もない。

しかし国岡商店は社員ひとりたりとも馘首せず、旧海軍の残油集めなどで糊口をしおぎながら、たくましく再生していく。

20世紀の産業を興し、人を狂わせ、戦争の火種となった巨大エネルギー・石油。その石油を武器に変えて世界と闘った男とはいったい何者か—実在の人物をモデルにした本格歴史経済小説。

○馘首とは…雇い主が使用人をやめさせること。解雇。(大辞林より)

※公式サイトより引用



下

百田尚樹

『永遠の〇（ゼロ）』 018 / K

太平洋戦争を舞台にした零戦パイロットの物語

2013年12月 映画公開！！

# ふくわらい

西 加奈子

## 【内容紹介】

マルキ・ド・サドをもじって名づけられた、

書籍編集者の鳴木戸定。25歳。

唯一の趣味は、暗闇でのひとり遊び—。

彼女は幼い頃、紀行作家の父に連れられていった旅先で、誰もが目を覆うような特異な体験をした。その時から、定は、世間と自分を隔てる壁を強く意識するようになる。

日常を機械的に送る定だったが、ある日、心の奥底にしまいこんでいた、自分でも忘れていたはずの思いに気づいてしまう。

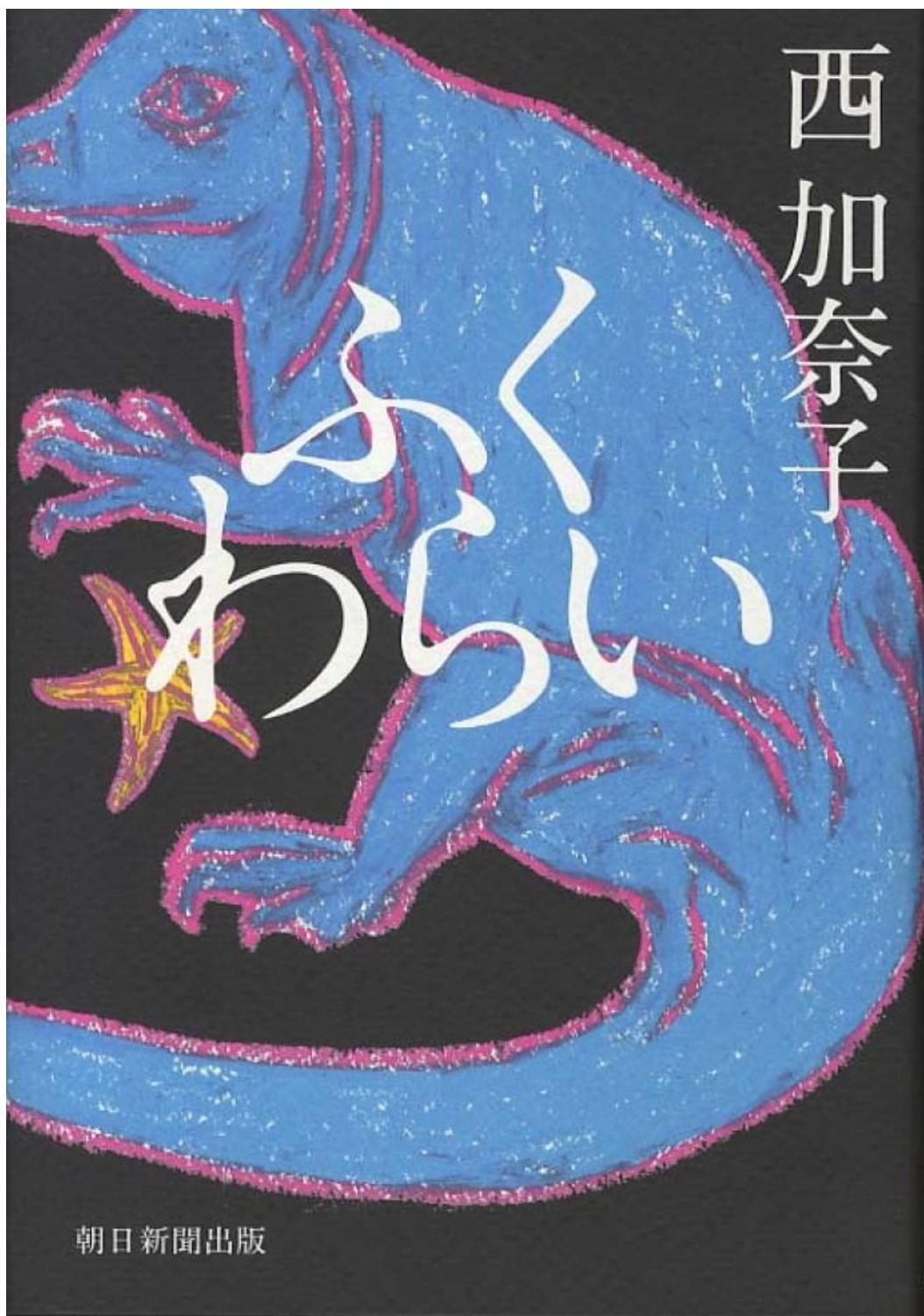
その瞬間、彼女の心の壁は崩れ去り、熱い思いが止めどなく溢れ出すのだった——。

※Amazon より引用

## <他の著書>

『さくら』『通天閣』

[ 第二フロア電動 ] 913.6 / N の棚をご覧ください !





# 世界から猫が消えたなら 川村 元気

## 【内容紹介】

僕は生きるために、消すことを決めた。

今日もし突然、チョコレートが消えたなら 電話が消えたなら

映画が消えたなら 時計が消えたなら 猫が消えたら

そして 僕が消えたなら

世界はどう変化し、人は何を得て、何を失うのか  
30歳郵便配達員。余命あとわずか。

陽気な悪魔が僕の周りにあるものと引き換えに1日の命を与える。  
僕と猫と陽気な悪魔の摩訶不思議な7日間がはじまった——

消してみることで、価値が生まれる。失うことで、大切さが分かる。  
感動的、人生哲学エンタテインメント。

※Amazonより引用

＜映画プロデューサーである著者の関連作品＞

『電車男』『告白』『悪人』など

DVD所蔵あり★



# 百年法

山田 宗樹

## 【内容紹介】

不老不死が実現した社会。

しかし—法律により 100 年後に死ななければならない

1945 年、太平洋戦争終結。日本には原子爆弾が 6 発投下され、都市部は壊滅。人口は半減。日本全土を支配下に置いたアメリカは天皇制を廃し、共和制を敷いた。

そんな中、GHQ はすでにアメリカで実用化されていたヒト不老化技術(human-ageless-virus inoculation:HAVI)を日本に導入することを決定する——。その HAVI の導入時に一つの法律が制定された。生存制限法。通称「百年法」。「HAVI を受ける者は、処置後百年を経て、生存権を始めあらゆる権利を放棄することに同意せねばならない」つまり、百年後には死ななければならない。

そんな日本で、その最初の百年が迫っていた……!? HAVI をつかさどる官僚・遊佐章仁、国益を追求する政治家・永尾聖水、母がまもなく百年法による死を迎える大学生「僕」、HAVI の世界に反旗をかかける「阿那谷童仁」……様々に思惑が渦巻く“世界”はどこへ向かうのか!?

※公式サイトより引用

＜他の著書＞

『嫌われ松子の一生』 DVD 所蔵あり☆

# 晴天の迷いクジラ 窪 美澄

【内容紹介】

やっと気づいた。

ただ「死ぬなよ」って、それだけ言えばよかったんだ——。

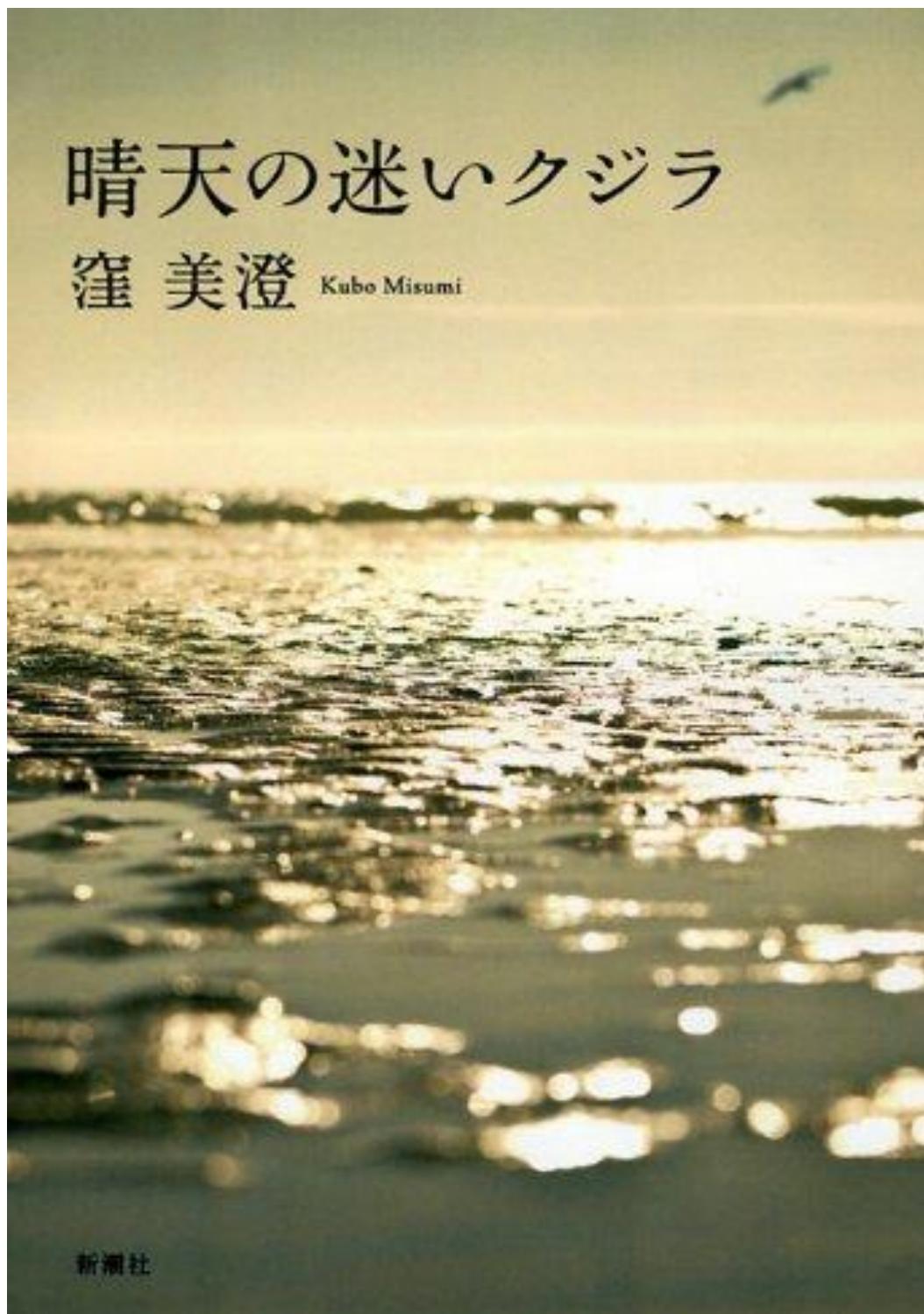
心療内科の薬が手放せない青年、倒産しそうなデザイン会社の孤独な女社長、親の過干渉に苦しむ引きこもり少女。壊れかけた三人が転がるように行き着いた海辺の村で、彼らがようやく見つけたものは？

人生の転機にきっと何度も読み返したくなる、感涙の物語。

※出版社 HP より引用

『ふがいない僕は空を見た』 913.6 / K

『2011年 本屋大賞』 2位受賞



# 屍者の帝国

伊藤 計劃×円城 塔

## 【内容紹介】

早逝の天才・伊藤計劃の未完の絶筆が、  
盟友・円城塔に引き継がれて遂に完成！

# 屍者の帝国 伊藤計劃×円城塔

The Empire of Corpses

Project Itoh × Enjoe Toh

河出書房新社

19世紀末——かつてフランケンシュタイン博士が生み出した、死体より新たな生命「屍者」を生み出す技術は、博士の死後、密かに流出、全ヨーロッパに拡散し、屍者たちが最新技術として日常の労働から戦場にまで普及した世界を迎えていた。後にシャーロック・ホームズの盟友となる男、卒業を間近に控えたロンドン大学の医学生ジョン・H・ワトソンは、有能さをかわれて政府の諜報機関に勧誘されエージェントとなり、ある極秘指令が下される。世界はどこへ向かうのか？生命とは何か？人の意識とは何か？若きワトソンの冒険が、いま始まる。

※公式サイトより引用

《第33回SF大賞》特別賞受賞

# きみはいい子 中脇 初枝

---



## 【内容紹介】

夕方五時までは家に帰らせてもらえないこども。

娘に手を上げてしまう母親。

求めていた、たったひとつのもの——。

怖かったのも、触れたかったのも、おかあさんの手だった。

ある雨の日の夕方、ある同じ町を舞台に、誰かのたったひとことや、  
ほんの少しの思いやりが生むかもしれない光を描き出した連作短篇集。

※出版社 HP より引用

《第1回静岡書店大賞 小説部門》 大賞受賞

《第28回坪田讓治文学賞》 受賞